

■大豆の殺菌剤

区分		毒性	予防／治療	系統名	薬剤名	希釈倍率	水100ℓあたり 使用薬量	適用病害虫名							防除上の注意事項		
								使用時期 (収穫前日数)	回数 以内	斑点細菌病	紫斑病	菌核病	灰色かび病	べと病		茎疫病	
塗沫 処理	各種 病害	—	—	ジチオカーバメート	キヒゲンRー2フロアブル	乾燥種子1kg あたり原液20ml	種子60kg あたり原液 1200ml	は種前	1		●					・苗立枯病、タネバエに登録あり	
茎葉 散布	斑点細菌病 6月中旬～	—	予	銅	ドイツボルドーDF	500倍	200g	—	—	●						・高温時の散布は避ける。	
	紫斑病 開花2 週間後～	—	予治	QoI	アミスター20フロアブル	2000～3000倍	33～50ml	7日前	2		●			2000 ●		・腐敗粒に2000倍で登録あり。 ・展着剤の種類により薬害を生じる場合があるので、事前に適否を確認する。	
	べと病 茎疫病 6月下旬～	—	予	有機硫黄	グリーンペンコゼブ水和剤	400倍	250g	45日前	3		●			●		・ボルドー液・石灰硫黄合剤などアルカリ性薬剤との混用は避ける。 また、ボルドー液との7日以内の近接散布も避ける。	
		—	予治	CAA・銅	フェスティバルC水和剤	600倍	166g	7日前	3	●				●	●	・既存薬剤に耐性を示す茎疫病に対して効果を示す。 ・高温時の散布は避ける。	
		—	予治	CAA・クロニトリル	プロポーズ顆粒水和剤	1000倍	100g	21日前	2		●			●	●		
		—	予治	ジチオカーバメート・シアノセトアミド	カビナイスPZ水和剤	1000倍	100g	45日前	3					●		・ボルドー液・石灰硫黄合剤などアルカリ性薬剤との混用は避ける。	
		—	予治	QoI・シアノセトアミド	ホライズンドライフロアブル	2500倍	40g	7日前	3					●		・アルカリ性薬剤との混用は避ける。	
		—	予	Qil	ランマンフロアブル	1000～2000倍	50～100ml	7日前	3					●	●		
		—	予治	ジチオカーバメート・PA	リドミルゴールドMZ	500倍	200g	45日前	3					●	●	・ボルドー液・石灰硫黄合剤などアルカリ性薬剤との混用は避ける。	
	紫斑病 菌核病 開花始期～	—	予治	MBC	トップジンM水和剤	700～1000倍	100～142g	14日前	4		●	●				・ボルドー液・無機銅剤との混用は避ける。	
		—	予治	QoI	ファンタジスタ顆粒水和剤	2000倍 2000～4000倍	50g 50～25g	7日前	3		●	●	●				
		—	予治	MBC・N-フェニルカーバメート	プライア水和剤	1000倍	100g	14日前	4		●	●	●			・炭疽病に1000倍で登録あり。	
		—	予治	SDHI	ケンジャフロアブル	1500倍	66g	14日前	2			●	●				
		—	予治	ジカルボキシイミド	スミレックス水和剤	1000～2000倍	50～100g	21日前	4			●				・水稻などの周辺作物への飛散に注意すること。	